

防災士さんと
マイ・タイムライン
を作ってみたよ

Contents



□第427回定例会..... 2	□一般質問 12
□令和5年度決算審査 4	□防災士と議員とのカフェ・ド・ギカイ..... 16
□常任委員会審査..... 8	□農業委員と議員とのカフェ・ド・ギカイ回答 .. 18
□全員協議会NEWS 10	□追悼小林栄治議員・政治倫理審査会..... 19
	□突撃インタビュー 関谷優里さん..... 20

財政は**健全!**
1442万円を認定



令和5年度決算審査
町税収入43億6205万3663円
一般会計歳出総額**105億**

原案すべてを**可決**

決算および補正予算、陳情等を慎重審議

第427回定例会は、9月1日から13日までの会期で開催しました。条例の一部改正1件、決算認定7件、補正予算6件、他5件、合わせて19件の町長提出議案の他、諮問1件、報告3件、陳情5件、意見書2件、追加議案4件を審議しました。決算認定では、慎重な質疑が繰り返されました。一般質問は3人の議員が登壇し、教育、発達支援、自治会、農業等について、執行部との論戦に臨みました。



全議案の採決結果

令和5年度 会計別決算総括表

Table with 5 columns: 会計, 区分, 予算額, 決算額, 比率. It lists various accounts like 一般会計, 国民健康保険, 後期高齢者医療, etc.

※事業会計の歳入歳出額は、収益的収支額+資本的収支額で記載しています。

不測の事態への対応も念頭に
適切な財政運営を

監査委員の総括意見

令和5年度においては、持続可能な開発目標の理念に基づき、脱炭素ビジョンの策定やカーボンニュートラルの推進、行政のデジタル化や災害時の防災拠点となる新庁舎の整備に関する事業等を重要なテーマとしてスタートした。新型コロナウイルス感染症が終息に向かう中、世界的な天候不順や混乱する世界情勢は、本町にも様々な影響を与えているが、「くらし 高まる たかねざわ」を目指す町政運営は確実に遂行されている。



鈴木代表監査委員

このような中、本町の財政力指数は0.736で前年度とほぼ同じ水準を維持しており、経常収支比率は83.3%で、前年度より0.9ポイント上昇している。その理由としては、経常的な一般財源のうち、臨時財政対策債が前年度比7000万円減少した一方で、人件費、物件費、補助費などの経常経費が2億378万円増加したためである。

これらの指数から、本町の財政状況は健全な水準にあると判断できるものの、今後は想定を超えた少子高齢化の進行に伴う税収の落ち込みや社会保障関係費の増加、社会基盤整備、新庁舎整備等に多額の費用が見込まれることから、引き続き確かな財政運営に鋭意取り組まなければならない。

岸田総理・担当大臣へ意見書を提出

① 現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書
② ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書

【要旨】

改正マイナンバー法が2023年6月2日に成立し、2024年12月2日に健康保険証を廃止して、マイナンバーカードに保険証機能を持たせる「マイナ保険証」に一本化されることになった。

【要旨】

2023年10月7日に起きたイスラム原理主義組織ハマスによるイスラエルの大規模攻撃および人質事件に対して、イスラエルは、ガザ地区に対する大規模攻撃による侵攻を行い、ガザ地区では人道的な危機に直面している。

高根沢町平和都市宣言の下、高根沢町議会としては、日本政府においても、ガザ地区の危機的現実を直視し、国連総会決議、国連安全保障理事会決議の即時停戦を実現するための外交努力を強く求める。

意見書全文はこちらから!



第427回定例会 町民の付託に応えた各議員の賛否

Table with columns for 上程された議案等, 賛否, 採決結果, 議決結果, 掲載ページ. It lists various proposals and the voting results of council members.

令和5年度決算の気になる中身は 主要事業に町民の率直な声

新型コロナウイルスの影響が続く中での令和5年度事業。その内容と事業に対する町民の感想・ご意見を掲載します。

安全・安心な暮らしの実現と
住み続けたいと心から思える
魅力ある町づくりに向けて！



安定財源



歳入
町民税 20億2460万円
固定資産税 20億 891万円

歳入の中で、町税（自主財源）43億6205万円は、歳入総額109億2300万円の39.9%を占めることや、町民税と固定資産税の割合が大きいことが本町の特徴で、財政を支える安定財源となっています。

町民税の内訳は、個人分18億4558万円と法人分1億7902万円。固定資産税の内訳は、土地分6億3220万円、家屋分9億1325万円、償却資産分4億6346万円です。



議員のここチェック

町税の徴収率は98.2%。県内25市町の中で第5位となっています。

税負担の公平性を確保するため、徴収率の向上により一層取り組んでもらいたいと思います。

たんたん号



デマンドバス運行事業費 3996万円

町民の皆さんの身近な移動手段「たんたん号」。町内を1回100円（80歳以上の方は無料）で玄関先から目的地まで“ドアtoドア”で運行します。令和5年度の利用者数は、43,267人（前年比3.4%増）です。

議員のここチェック

地域の足として、町民のニーズを捉えた運行を開始して14年。頼りになる存在として、生活に密着しています。

私もひとこと



運転免許証を持っていないので、病院に行くときや買い物に行くときなど、とても役立っています。

時々、待ち時間が長い時があるので、ちょっと工夫して利便性をあげて欲しいと思います。

農業者を応援



園芸振興事業費 1593万円

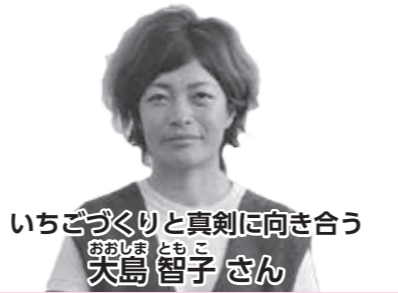
認定新規就農者や新規作物導入者・規模拡大を図る経営者に、園芸用パイプハウス導入費用の一部（30～80%）を補助。令和5年度は、11人（認定新規就農者7人、新規作物導入者3人、規模拡大1人）の実績です。

議員のここチェック

本町はいちご、トマト、なす、枝豆などの園芸作物を推奨。

新規就農者や規模拡大者の「やる気」が町を元気にします。

私もひとこと



資材高騰により購入したいハウス設備も予算オーバーのため、諦めることになりそうでしたが、補助金を利用でき導入しました。

いちごは多額の設備投資が必要なのでご助かりました。新規就農者が増えて欲しいです。

スポーツ振興



元気あっぷハーフマラソン大会事業費 602万円

4年ぶりに開催された、元気あっぷハーフマラソン大会兼長距離走大会。総勢1,470名のランナーが新春の高根沢路を駆け抜けました。

議員のここチェック

新型コロナウイルスの影響で、令和2～4年度は開催されませんでした。県内外からも多くの参加者があり、町のPRにも貢献している事業です。

私もひとこと



県内唯一の日本陸連公認ハーフマラソンを含む大会で、箱根駅伝選手、オリンピック代表選手も走る大会。始まりは小中学生のための手作り御料牧場マラソン大会。一流選手の走り子どもたちが見られることに未来があると思う。

結いの心 道普請



みちぶしん道普請事業費 326万円

生活環境改善に向け地域から要望のあった砂利道は、コンクリート舗装材料などを町が提供し、地域住民が共同作業により舗装道路を整備しています。

令和5年度は3か所に地域住民の力が結集されました。

議員のここチェック

地域の皆さんが力を結集し事業を行う“普請”。お互いに助け合う共助の精神は、町の事業を助けることに繋がります。

私もひとこと



本当に自分たちでできるのか不安でしたが、舗装工事の型枠を作ったり、生コンクリートを流したりと、皆で力を合わせてやり遂げました。子どもたちの通学路にもなっており、やって良かったと実感しています。

子育て応援



子ども家庭総合支援 拠点事業費 404万円

こども相談員を配置して、子育てに悩みを抱えた家庭に対してショートステイなどのサービスを提案したり、関係機関との橋渡しをしたりするなど、親身になって相談にのっています。

議員のここチェック

子育てには悩みがつきものと言われますが、専門の相談員に悩みを相談できるという安心感は、とても心強く感じられることでしょうか。

私もひとこと



町教育委員会こども相談員
三好 玲子 さん

子育てに悩みはつきものです。話して、スッキリしませんか？安心して子育てができるようサポートします。「こんなこと、聞いてもいいのかな？」と思うような、ささいな相談でもかまいません。一緒に考えましょう。

住環境整備



公共下水道管渠築造工事費 1億8831万円

各家庭から排出される汚水をきれいにし、衛生環境を保全するため、公共下水道事業を実施しています。令和5年度は新たに2230.1mの管渠を敷設し、マンホールポンプ等の機械設備の更新も実施しました。

議員のここチェック

住環境の整備は喫緊の課題です。住みたくなる町に向け、計画的な整備を持続的に展開することが定住に繋がります。

私もひとこと



宝積寺北区にお住まいの
齋藤 智 さん

生きていく上で欠かせない生活排水。下水道整備を行って頂いているお陰で、安心して快適な生活を送れ、感謝しています。高根沢町の更なる発展のため、未整備地区に笑顔を届けて欲しいです。

体験・食育・触れ合い



青少年対象体験活動 支援事業費 53万円

青少年体験活動「たんたんどろんこ道場」を開催。10家族が参加し、食に対する正しい知識や地元農産物に対する理解の促進・普及を図るとともに、農業体験を通じた親子ふれあいの場を創出しました。

議員のここチェック

青少年の体験活動、食育、農業体験、親子やボランティアの高校生たちとの触れ合いまでも兼ねる事業展開だと感じます。

私もひとこと



どろんこ道場に参加した
増子 結菜 さん・美貴 さん

自分たちで育てて収穫して食べる野菜は、特別な感じがしました。土に触れながら、高校生たちとお喋りする時間も楽しく、親子ともに貴重な時間でした。収穫したときの子どもの喜ぶ笑顔、とても良い体験でした。

安全・安心



街路灯整備事業費 1140万円

町街路灯維持組合が実施した街路灯LED化費用の補助と、町所管分街路灯の撤去、建て替え工事。新規と交換合わせて、108基の街路灯がLED化されました。

議員のここチェック

LED化により、より明るさを確保でき、犯罪抑止の効果も大きく、経費の節約にも繋がります。

私もひとこと



仁井田商店街の
檜原 順一 さん

街を明るくすることは防犯の役に立つことにもなり、とても大切なことだと思います。LED化により、電気料金も安価になりました。設置する方がもっとも増えれば、より安全・安心な街づくりに繋がります。

自主防災



自主防災組織育成事業費 129万円

地域防災組織の育成と、防災力向上のための資機材の購入費、活動費用として、令和5年度は5つの自主防災組織に補助しました。

議員のここチェック

災害に備えることや、公助が届きにくい場合には、地域が協力して助け合うことが求められます。地域の防災活動が広まるような施策の拡充が必要です。

私もひとこと



太田自治防災会会長
田代 正夫 さん

東日本大震災の発生で、災害が他人事ではないこと、公助の力には限界があることを痛感しました。これまで地域でお世話になった皆さんへの恩返しと、防災活動をとoshitamachizukuriに繋がればと、活動しています。

健全育成



キャリア教育事業費 26万円

勤労観・職業観を育むため、小学校6年生に「職業の興味・関心・適正等」に関する授業を、中学生に職業体験の「マイ・チャレンジ事業」を実施しました。

議員のここチェック

職業体験により、自分たちが社会の一員であることや、住んでいる地域を身近に感じます。その体験から学ぶ意義は大きいと感じます。

私もひとこと



マイ・チャレンジ事業協力者
仲澤 勇 さん

感受性の高い中学生時代に職場体験ができることは素晴らしいと思います。職場体験では慌てずに正確な仕事をすることや、大きな声でお客様に挨拶することなど、基本的なことを指導します。今後の成長が楽しみです。

元気あっぷむら関連予算に質疑集中

(町出資会社への出資金5000万円・5年間の指定管理委託2億5000万円)
5議案が当委員会に付託され、陳情3件とあわせて審査が行われました

一般会計補正予算

主な歳入補正

○第3子以降保育料等免除事業費補助金の増額 726万円

○新型コロナウイルスワクチン助成金の増額 3320万円

○二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の増額 798万円

主な歳出補正

○子どものための教育・保育給付事業費の増額 4807万円

○定期予防接種事業費の増額 4971万円

主な質疑

65歳以上は3000円

Q コロナワクチン予防接種予算額の積算根拠は？

A 健康福祉課長
医療機関への委託料が1万

一般会計補正予算

主な歳入補正

○普通交付税 4億8904万円

○財政調整基金繰入金 △5億1235万円

主な歳出補正

○道の駅たかねざわ元気あっぷむら指定管理委託事業費(出資金) 5000万円

債務負担行為

○道の駅たかねざわ元気あっぷむら指定管理委託(令和7～11年度) 2億5000万円

主な質疑

出資金の根拠は

Q 町出資会社への出資金5000万円の根拠が明確に示されていないが？

国民健康保険特別会計補正予算

主な歳出補正

○一般被保険者高額療養費の増額 1764万円

主な質疑

Q コロナ5類移行の影響？
高額療養費が増額されたが、要因は？

A 住民課長
新型コロナウイルスが5類になって、入院の制限がなくなったことも要因の一つと思われる。

委員会審査結果

全員一致で可決すべきものと決定。

産業課長

A 正確な金額を算出するのは難しく類似施設を参考にした。

指定管理委託費の根拠は

Q 元気あっぷむら指定管理委託費を5年間で2億5000万円、年間5000万円とした根拠は？

産業課長

A 維持管理費を8700万円と算出した。そこからテナント料4700万円を相殺し、物価高騰分の1000万円を上乗せした。



お城のような風格あるたたずまいの本館(道の駅たかねざわ元気あっぷむら)

委員会審査結果

全員一致で可決すべきものと決定。

陳情審査(2件)

「学校のプール清掃の公費負担に関する陳情」

【要旨】

現状、町内学校のプール清掃は、教員、児童・生徒、PTA等が実施している。学校のプールは学校施設の一部であるため、公費負担により外部委託にて実施して欲しい。

【主な意見と審査結果】

個々の学校において事情が異なる。現状を把握するための調査が必要だと思われる。全員一致で「継続審査」とすべきものと決定。



「学校のプール清掃」は誰が？

「現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める陳情」

【要旨】

12月から始まる健康保険証の廃止を中止し、当面の間、現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求めるように、国に意見書を提出して欲しい。

【主な意見と審査結果】

資格確認証が紙の保険証と機能的には変わらないことやマイナンバーカードと保険証の紐づけが進むよう不採択とすべきである。

また、医療機関の窓口での混乱が予測され、医療者の訴えを組み取る必要があるので採択すべきである。賛成多数で「採択」とすべきものと決定。



第427回 町議会 常任委員会 報告全文

陳情審査(3件)

「横須賀議員の違法性行為に関する陳情」

【要旨】

横須賀議員は、鬼怒川東部土地改良区事務局職員へ暴言などの嫌がらせをし、精神的な苦痛を与えたとして損害賠償をするよう、宇都宮地方裁判所から命じられた。横須賀議員は東京高等裁判所に控訴したが控訴棄却、上告期限が過ぎ、一審判決が確定した。

【主な意見と審査結果】

平和を願う思いは同じであり、全員一致で「採択」とすべきものと決定。

「ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書の提出を求める陳情」

【要旨】

ガザ地区の一般市民の犠牲を止めるべく、停戦を呼びかける意見書を提出して欲しい。

「最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書の採択を求める陳情」

【趣旨】

最低賃金法を改正し、全国一律制度を実現する意見書を提出して欲しい。

【主な意見と審査結果】

賃金が全国一律というのは難しく、会社存続の危機等の問題もあり、全員一致で「不採択」とすべきものと決定。



第427回 町議会 常任委員会 報告全文

子育て支援やワクチン接種助成などを審査

議会に上程された19議案のうち8議案が当委員会に付託され、陳情2件とあわせて審査が行われました

「道の駅たかねざわ 元気あっぷむら」

令和7年度以降の運営案は 町100%出資の株式会社を指定管理者に!!

8月27日

全員協議会 NEWS

8月27日、第427回定例会に提出予定の議案および「道の駅たかねざわ 元気あっぷむら」令和7年度以降の運営などについて、それぞれ担当課長等から説明を受け、質疑が行われました。

町、「元気あっぷむら」のこれまでの運営体制の反省を踏まえた、運営案を示す

「元気あっぷむら」は、高根沢町90%・農協5%・商工会5%が出資する第三セクター「株高根沢元気あっぷ公社」を設立し、平成9年に運営をスタートしましたが、営業不足や収益意識の不足などで経営不振に陥り、令和元年6月に自主廃業しました。

町は経営改善に向け、「道の駅」登録、グランピング施設の整備などをし、令和2年4月にリニューアルオープンしました。民間事業者による指定管理を採用し、運営を任せましたが、町の意向が十分反映されない、サービスの維持

向上を意識しないコストカット、施設全体が活用されないといった運営上の課題が出てきました。

そのため、令和7年度からの運営は、町の意向を確実に反映できる町100%出資の株式会社を設立し、指定管理者としたことの説明がありました。

町が90%出資の第三セクターと、どかが違うのか

第三セクターで上手くいかなかったのに、今回、町でやる理由は？

第三セクターの時は、株主総会には出たが、取締役会には出ることがなかった。株主として意見を提案できても、経営者が認めなければ意見は反映されない形態だった。

この失敗を踏まえ、集客、サービスのノウハウのある民間となったが、いろいろな課題が出てきた。原因は、指定管理者は赤字と言っているが、本社に毎年3千万円〜4千万円持っていて、元気あっぷの収支に戻っていないから

町100%出資の株式会社の事例は

町100%出資の株式会社を作るといことだが、同じような施設の実例はあるのか？

産業課長 近隣で行っている施設はない。出資の割合の問題で、町が100%出資するのは、町が全責任を負うということ。

代表取締役としての町長の役割は

町長が代表取締役となり、町がスタッフをそろえるのか。総合的なプロデュースができる人が必要だと思うが、町長がやるのか？

町長が代表取締役になるが、常駐することができないので、日常的な経営の責任者を置く。代表取締役であれば経営的な会議に出られ、私の決裁なく自由にはならない。ビジネスを分かっている人が代表取締役をやらないと失敗する。だから私がやる。

売却という選択は

町は経営にタッチしない方が将来的に良いと思うが、売却は考えなかったのか？

50億円以上を投入してきたものを、売却するとは言えない。何とか存続させる道を模索し、今回のやり方が最も可能性が高い。

「元気あっぷむら」は町民の財産

「元気あっぷむら」が、町民の利用しやすい施設になるよう、議会としても提案を行っています。



南国ムードが漂うグランピング

入園児童数の減少により 公立保育園が統合に

「待機児童ゼロ」の町

本町は子育て支援を充実するため、民間保育園の施設整備を積極的に支援し、児童受け入れ定員を増加させてきました。その結果、本町では「待機児童ゼロ」になっています。市街化調整区域に立地している公立保育園の「にじいろ保育園（太田）」と「のびのび保育園（上高根沢）」は入園児童数が減少している状況です。

「にじいろ保育園」のびのび保育園に統合へ

町は、公立保育園が医療的ケアを必要とする児童の受け入れや緊急時の対応などの役割があるとし、様々な保育サービスを充実させるため、専門的知見が必要な保育士の人材育成を統合した公立保育園に集約していくとしています。今後、のびのび保育園一園に統合し、そのために必要な

専門的職員の配置と職員の資質向上を

医療的ケア児や専門的支援を要する子に対して職員の配置と資質向上は？

改修を行うため、令和8年4月から一時的ににじいろ保育園一園での運営となります。

子どもみらい課長

手厚い保育ができるよう加配し、医療的ケアは、看護師でなければできなかったが、研修を受けた保育士もできるようにしたので、積極的に研修に参加させていく。

子育て支援センターれんげそりやファミリーサポートセンターの役割は重要

「にじいろ保育園」に併設されている「れんげそり」や「ファミリーサポートセンター」は、子育て家庭のふれあい・ささえあふ重要な交流の場になっています。今後、保育園の統合が推進されても、その役割はしっかりと位置づけられていくよう議会としても求めていきます。



長年、地域の子育て支援の場になっていた「にじいろ保育園」



よみがえる「道の駅たかねざわ元気あっぷむら」を上空より望む



問 ひよこの家の老朽化への対応と 今後の教育のあり方は 【教育長】施設の統廃合と合わせて教育環境の あり方をICTを含めつつ検討したい

野口 昌宏 議員



← 一般質問の
動画はこちら！

Q 本町では、心理・福祉面の支援の他に、家庭訪問型学習支援事業を独自に行っている。ひよこの家では、さらに安心して過ごせる居場所づくり

A 教育長

Q 保健センターによる定期健診での保健師と保護者の面談や、心理相談員・言語聴覚士・作業療法士による各種相談を行っている。また、年中児を対象に保健師と心理士が全保育園と幼稚園を訪問し、保育士

A 教育長

Q 様々な支援の他に、幼少連携協議会での保育士と教員の授業研究等、発達面で気になる子への対応を進めているので、巡回相談は考えていないか？

A 教育長

Q 本町では20代の定住化が進んでいない現状があり、奨学金返済制度も含めて、独自の奨学金の創設は考えていないか？

A 町長

Q 不登校対策として先進的な市町においては、ICTの活用が目覚ましい勢いで進められているが、ひよこの家における今後の導入は考えているか？

A 教育長

Q 本町では、発達障害に関連した支援は、現在どのように行われているか？

A 教育長

Q 本町でも、大学教員等による巡回相談を行っている、早期発見と早期の具体的な対応を行うべきではないか？

A 教育長

Q 本町周辺の市町では独自の奨学金の創設は返済についても、その市町に定住すれば一定額を免除する等の配慮がなされている。本町においても同様の奨学金制度を設け、学生への経済的支援を行うべきでは？

A 町長

Q ひよこの家へのICT活用は考えているか？

A 教育長

問 保育園等への専門家の巡回による発達支援相談が必要では
答 【教育長】様々な支援を行っている
ので現状では考えていない

Q 築100年を超えるこの施設は、老朽化と共に耐震基準を持たしていない。このことに対してどのように考えているか？

A 教育長

問 保育園等への専門家の巡回による発達支援相談が必要では
答 【教育長】様々な支援を行っている
ので現状では考えていない

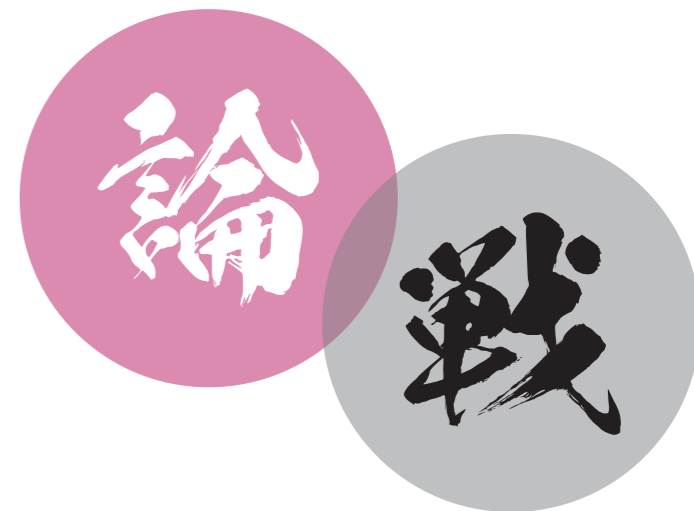


老朽化が進むひよこの家

問 本町在住の学生への奨学金の創設が必要では
答 【町長】現時点では考えていない

一般質問

町民の声を 町政に！



◆野口 昌宏 議員…………… 13

- ①ひよこの家の老朽化への対応と今後の教育のあり方は
- ②保育園等への専門家の巡回による発達支援相談が必要では
- ③本町在住の学生への奨学金の創設が必要では

◆森 弘子 議員…………… 14

- ①自治会加入率アップで、地域コミュニティの推進を
- ②小学校の体育館へ冷風機の設置を
- ③民間の社会福祉法人の運営について

◆横須賀忠利 議員…………… 15

- ①農業課題の解決に向けた支援を
- ②公文書取扱いの行政理解は

※本紙では、太字の質問を要約して掲載しています。

Facebookもチェック

町議会の情報を分かりやすく、タイムリーに発信しています。ぜひ、この機会にチェックされては、いかがでしょうか。



一般質問って？

「一般質問」は、町の行財政全般に関し、議員主導で政策的な論議をする場です。質問時間は、一人につき質問、答弁、再質問を含め60分以内です。

会議録

会議録は、定例会及び臨時会の終了後、約3ヶ月後に発行しています。図書館中央館で閲覧ができます。また、町ホームページの「会議録検索システム」からご覧になれます。



会議録検索システム

一般質問の動画 YouTube

一般質問の各議員のページにある二次元バーコード、またはYouTubeで「高根沢町議会 第427回」で検索を！

DVDは、図書館中央館で貸し出しています。

傍聴者の声

河内 繁雄さん
(宝石台)



9月議会定例会の傍聴に行ってきました。

普段はYouTubeで一般質問など視聴しておりますが、やはり傍聴すると議場の雰囲気、質問する議員、答弁する側の表情・態度など良くなりました。

色々な課題・問題等(人物・金)難しい内容も取り上げられていますが、町民側としては我々代表の議員は、一番困っている人、一人も取り残さず、弱者に寄り添う問題提起がもう少しあってもよいかなと思いました。町民の声を反映した政策推進のために御用聞きに歩くことを大切にして下さい。町民から「ありがとうございます。助かりました。」と沢山の声が上がること期待しております。議員の皆さんのご活躍を祈っております。私も現役リタイアしたあと、微力ですが地域に関わり少しでもお役に立てればと思っております。最後に、議員の高齢化が進んでいるので、若い議員さんが出現してくれたら良いな！



自治会加入率アップで、地域コミュニティの推進を

【町長】自治会加入促進の取り組みは、各自治会で対応すべきものである

森 弘子 議員

一般質問の動画はこちら！



開発業者等へ自治会加入への働きかけを

Q 本町は、年々自治会加入率が低下し、令和6年度は加入率が38.4%で、県内では最も低い自治会加入率となっている。特に市街地では20%前後である。加入率促進のために、「開発業者」や集合住宅の「家主」「管理組合」へ、自治会加入への働きかけを町として積極的に行うことはどうか？

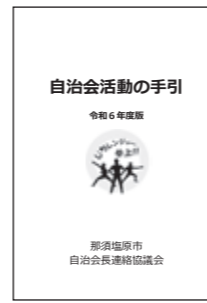
A 町長 自治会加入促進の取り組みは、開発業者や家主への働きかけを含め、各自治会において対応すべきものである。町は、平成26年12月に、栃木県宅地建物取引業協会県北支部と当時の区長会との三者で「自治会加入促進に関する協定」を締結し、町内の不動産業者に自治会加入に関する案内に協力を頂いている。開発業者等への働きかけは、開発手続き等の機会を捉えて、

開発業者等に契約者等への自治会加入案内について、協力をお願いすることも考えられるので、町自治会連合会の考えも伺いながら検討していく。

「自治会活動の手引き」の発行を

Q 自治会活動を活発にしていくなかに自治会の必要性や役割、運営、助成金、自治会活動におけるQ&Aなどを記載した「自治会活動の手引き」を発行しては？

A 町長 各自治会長により自治会連合会が組織されているので、自治会連合会として「自治会活動の手引き」を発行するとの判断に至った場合においては、町として必要な支援を行っていく。



那須塩原市自治会活動の手引き

小学校の体育館へ冷風機の設置を

【教育長】令和7年度の事業として冷風機を設置する

熱中症対策

Q 年々、暑さが厳しくなっている中で、学校教育現場でも熱中症対策が課題となっている。令和6年度に阿久津中学校の新体育館2台、旧体育館1台、北高根沢中学校の体育館2台の冷風機を設置した。令和7年度の事業として、各小学校の体育館に冷風機を設置してはどうか？

A 教育長 中学校の体育の授業や部活動での体育館の使用状況を踏まえ、今年6月、中学校2校に可動式の大形冷風機を導入したところである。設置後、効果の状況を確認したところ好評を得ており、熱中症対策に有効であることが分かった。このことから、令和7年度の事業として、小学校の体育館に冷風機を設置すべく、準備を進めている。



熱中症対策に効果を得ている大型冷風機

農業課題の解決に向けた支援を

【町長】行政支援は必要不可欠！ 人・農地の問題は一体的に取り組む

横須賀忠利 議員

一般質問の動画はこちら！



農業を守る行政支援を

Q 高齢化、担い手不足、耕作放棄地などに対する支援政策は？

A 町長 法定化された地域計画を、今年度中に全地区策定し、将来目指すべき農地利用の姿が示され、規模拡大・縮小の意向状況も把握しやすくする。また、令和7年度から多面的機能支払交付金を活用し、地域や農業者個人の負担なく地域農業者等で構成した組織が取り組む、農地等の除草や農道路面維持など基礎的な農地維持、農業施設補修などの農村環境保全、耕作放棄地対策や防滅対策などの地域資源の質的向上を図る活動を、幅広く支援する。

規模に応じた効率的な支援策の展開

Q 大規模・小規模農家に対する支援策は？

A 町長 大規模農家には、農地バンクの活用に対する支援を強化し、農地の有効利用を促進させる。また、作業効率化・省力化が生産性の向上となるため、スマート農業の推進、各種技術支援の継続、稲作栽培の省力化技術の研究を進める。小規模農家には、「機械銀行」を通じた機械の貸し出しや、作業代行サービスの提供、多面的機能支払い交付金を活用した農地保全活動に対する広域的組織化を進め、経済的および身体的負担の軽減を支援していく。



大規模農家所有の米の集積機械

公文書取扱いの行政理解は

【町長】総務課で相談・助言・指導するが、議会文書の了承権限はない

公文書とは

公文書の内容は正確に



Q 正副議長決裁文書の訂正にかかる起案で、訂正した文書の内容を総務課に確認してもらった旨が記載されているが、合議文書としての理解でよいのか？

Q 公文書作成の目的と役割は？

A 町長

公文書は、町の諸活動や歴史的事実の記録であり、意志決定にいたる過程や事務および事業の実績を合理的に跡付けることや、検証することができるよう、作成されるものである。総務課は、文書管理主管課であり、公文書作成や管理方法などを、他の所属課や議会事務局に対しても相談、指導、助言を行っている。質問の文書は、議会内部の決裁文書であり、管理規程上、総務課の合議を要するものではなく、総務課に了承する権限はないと理解している。

町の安心安全“共助”で意見交換



グループ2で出た意見

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・防災士としての活動の目的が不明確だ。これを明確にしていくためには、町から活動の目的や方向性を示して欲しい。 ・現在、防災士が町からの依頼を受け、小中学校で「マイ・タイムライン（避難行動計画）」講習を行っている。今後は、学校で保護者を伴いながら親子と一緒に防災や避難について考えることができないか。 ・防災では、公助、共助、自助の3つに分かれるが、特に「共助」について定義があいまいで具体性に欠ける。公助、共助、自助それぞれがここまでの範囲での支援、というような説明が欲しい。町の方で、そのアウトラインを示すべき。 ・防災士となった多くの方は、社会に貢献したい、地元で貢献したいという気持ちがある。その気持ちを生かす場として、防災士が集まって話し合う高根沢町防災士会のような集まりを立ち上げてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の住民の間では、誰が防災士なのか分からないという現状がある。 ・今後の防災活動を地域で行っていくためには、防災士と地元とのつながりを深めたり、地元との信頼関係をいかに構築したりしていくかが今後の課題といえる。



グループ3で出た意見

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・非常時の持ち出し備品を各家庭に配る。 ・実際に災害が起きた時に、どう動けばよいか分からないので、行政と連携してシナリオのようなものを作っておく必要がある。各自治会の総会等でも説明し、情報の共有が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が起きる前にどんなことを準備しておくか等の啓蒙活動が必要。 ・災害が起きた際、自分がケガをしたら他の人を救えないので、まずは自分の命を守ることを住民に周知する必要がある。また枕元に履物を置くなども大事。



【その後はどうなるの?】さまざまご意見は、町へ提供させていただきました。また、くらしづくり常任委員会の日常調査の中で、引き続き調査・研究を行ってまいります。

防災士と議員との カフェ・ド・ギカイ



詳細はこちら



町議会では、町民と議員が対話をしながら課題の共有と解決に向け、検討する「カフェ・ド・ギカイ」を開催しています。
7月26日、町防災士15名の皆さんと、議員11人が、「防災士の現状」と「防災士が活躍するための課題」をテーマに、3つのグループに分かれて、日頃から感じていることを中心に意見を交換しました。
町民の方が関心の高い「防災」。防災士の皆さんから出された意見、一緒に考えてみませんか。



グループ1で出た意見

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・自治会長を中心に地区防災計画の作成をした地域の話だが、防災士は中心的な関与をせず、あくまでもアドバイザー的な役割として計画に携わった。 ・地区で自主防災組織を立ち上げたときに、消防団の指揮や活動が実績として有効になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災士の数を増やすこと。 ・防災士の活動の周知をすること。 ・防災士のネットワークまたは組織を作り、横のつながりを持たせること。 ・防災士の認知度が低いので、町の広報紙などでアピールすることが大切。

農業委員と議員とのカフェ・ド・ギカイ 提言に対する回答



3月21日に開催した、「農業委員と議員とのカフェ・ド・ギカイ」から出された、農業委員からの声を議会としてまとめ、7月4日に町長に提出していた提言に対して、8月22日、町長より議長あてに回答が届きました。

日々、農業振興のためにご尽力されている農業委員の方たちにとって、直面している課題が改善に至るでしょうか。



提言1 土地改良事業の推進について
耕作放棄地の解消のためには土地改良による大区画化も必要であると思われるため、土地改良事業の推進を早急に進めること。

提言1への回答
まずは地域が一体となった広域的な保全管理体制づくりを行うことが急務であると判断し、令和7年度からの活動開始を目指して、多面的機能支払い交付金制度を活用した町内全域を活動範囲とする広域的保全活動組織の設立準備を進めています。土地改良事業については、こうした広域的な保全活動を実施する体制が構築され、取り組みを行っていく中で各地区の合意形成が図られれば、事業を進めることになると考えています。

提言2 河川の草刈りについて
河川の草刈りについて、個々の農家の負担が減るような仕組みづくりを行うこと。

提言2への回答
令和7年度から広域的に取り組む多面的機能支払い交付金制度では、地域の農業者等によって構成された組織が取り組む基礎的な農地維持につながる保全活動や農村環境保全活動等に係る経費について国・県・町が100%負担し、地域や農業者等個人は費用を負担することなく、活動に取り組むことができることから、負担軽減の手法の一つとして事業を推進していきます。

提言3 新規作物について
新規作物の栽培に取り組む農業者へのサポートを行うこと。

提言3への回答
現状、町設定の産地交付金対象野菜等以外の品目であっても、生産振興助成品目の設定基準を満たすとともに本町における魅力的な産品となりえるものであれば産地交付金の対象として選定することも可能ですので、農業者の方が新規作物の栽培に取り組む際には、ご相談いただければと思います。



回答全文はこちらから！



小林議員を偲んで



小林栄治議員が、令和6年8月26日にご逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

参加者が別れを惜しむ

8月30日の告別式では、町長をはじめ多くの方々が参列し、議長が弔辞を述べました。神林議長の手紙より
8月9日に、9月2日をもって議員を辞めたいという届け

を出されましたが、私は、また共に町のために働けるよう、今は治療に専念して欲しいという思いで、辞職を許可いたしました。なのに、このような形でお別れすることになるとは、とても残念です。

栄治議員は、平成14年4月に初当選されたから、高根沢町議会と高根沢町の発展のためにご尽力くださいました。また、議会活性化特別委員

会の委員長として、高根沢町議会の基本理念を定めるべく、議会基本条例の作成にご尽力くださいました。この条例の前文にある「結いの心を持って活力あるまちづくりを進めていくためには、町民との信頼関係及び協働の精神が不可欠である」という言葉には、栄治議員のまじりくりに対する思いが込められております。

活動を両立されてきましたね。令和6年3月定例会には、一般質問の通告をされていまし、定例会直前に体調が悪化し、一般質問は取り下げとなりましたが、病魔にむしばまれ、体力的に辛い中でも、町の将来を想い、最後の最後まで議員としての職責を全うしようとしたその姿には、畏敬の念に堪えません。「しっかりとやれよ！」と叱咤する君の声が聞こえてきそうです。

残された私たちは、君の果たせなかつた分まで、高根沢町発展のために尽力していくことをここに誓います。

9月議会での追悼

9月定例会の初日には、議場に置いた小林議員の遺影に向かって黙祷し、副議長が追悼の言葉を述べました。加藤副議長の追悼の言葉より
病気が発覚してからも、責任感の強さから、治療と議員



議場にて小林議員へ敬意を示し祈りを捧げました

政治倫理審査会を設置

9月13日に議員8名から政治倫理審査請求書が提出され、政治倫理審査会が設置されました。今後、審査会で審議を進めていきます。

審査対象議員

横須賀忠利議員

審査内容

横須賀議員の発言や街宣活動により、鬼怒川東部土地改良区職員が精神的苦痛を受けたとして損害賠償請求の訴訟を起こし、高等裁判所で損害賠償金支払いが確定しました。これらのことが、高根沢町

議会議員政治倫理条例第4条第1号に該当するか否か審査をするというものです。

政治倫理審査委員会

- 会長 森 弘子
- 副会長 野中 昭一
- 委員 齋藤 武男
- 野口 昌宏
- 菅谷 英夫



広報委員の突撃インタビュー
あなたの声を町政に

内に秘めた
闘志満載！



高根沢高等学校3年生 生徒会長

趣味 イラスト作成、楽器演奏

好きな言葉 「何事にも挑戦！」

令和5年11月から

生徒会長となった関谷さん。人の役に立ちたいとの思いから、1年生の時から生徒会に立候補し副会長として活動。

生徒会長になってからは、社会奉仕活動を積極的に行ってきた優里さんに、日頃の思いなどをインタビューしました。

生徒会のきっかけは

Q 生徒会に興味をもったきっかけは？

A 私は、もともと引っ込み思案で、人前に出ることが苦手でしたが、母の「何事も自分の好きなようにやってみたら」という言葉が背中を押ししてくれました。

生徒会で得たもの

Q 生徒会活動を通して得たものに、どのようなことがありますか？

A コミュニケーション能力が身についたことや、プレッシャーに強くなったことです。

生徒会の代表として、学年を超えて先輩の役員と意見を調整したり、先生方と話し合ったりしながら、学校行事を運営していくことの難しさを学びました。

また、臆することなく自分

の意見を多くの人に伝えるということも身についたと思います。

募金活動

Q 生徒会として社会に向けてどのような活動をしていますか？

A 今年1月1日に能登半島で発生した震度7の地震に対して、自分たちでできることはないかと思い、生徒会が中心となって募金活動を行うことを決意しました。

地震による被害の大きさや被災された方々の様子、募金の使用目的、募金の送り先などを自分たちで調べ、パソコンにまとめ、全校生徒に訴えました。



募金を訴える文書を作成
(高根沢高校ホームページから抜粋)

笑顔を手がけて

Q 日頃から心がけていることはありますか？

A 人と接する時に常に笑顔でいること。簡単ではありませんが、人との信頼関係をどのように作っていくかが社会生活をする上でとても大事だと思います。

笑顔で接することは人との関係を円満にできる大事な心がけだと思います。

将来の夢

Q 今後の目標や夢は？

A 人のために役立つ仕事につきたいと決めています。

私は栃木県がとても好きなので、県内の大学に進学し県内の医療機関に就職したいと考えています。今は診療情報管理士という仕事に強い関心があります。

16の町への期待は

Q 最後に、高校生活を通して、高根沢町に期待したいことは何でしょうか？

A 高根沢町は自然に恵まれているながらも、便利な商業施設もあるし、宇都宮にも近くて交通の便もいい。とても住みやすい町だと思いますので、このような環境はこれからもずっと続いて欲しいですね。

取材を終えて

もの静かで穏やかな印象の関谷さん。人のために役に立ちたい、自分をさらに高めていきたいとの内に秘めた思いを語る姿に、深い感銘を受けるとともに、未来への希望を感じました。
(野口)

編集後記

令和5年度年度決算審議や、防災士とのカフェ・ド・ギカイを中心に編集しました。ご意見・感想などのお便り、お待ちしております。

(下記住所・町議会宛て)

一、
広報誌が
スマホで
見れて便利
「マチイロ」&
「栃木イーブックス」
を検索



マチイロHP



トチギ
イーブックスHP